

教育事業名	平成29年度教育事業 <b>新茶の香り！家族で茶つみ！手もみ製茶体験！</b>
事業の趣旨	春の息吹を感じながら、茶摘みや手もみの製茶を体験したり、雄大な海の自然にふれたりして、親子の絆を深める。
対象者	小学1～3年生とその保護者・家族
実施期間	平成29年5月6日（土）～平成29年5月7日（日）1泊2日
参加者／定員	38名／40名

活動プログラム  
事業の内容

5/6（土）		5/7（日）	
13:20	自家用車で自然の家に集合 受付 集金 はじまりのつどい オリエンテーション 野外炊事場へ徒歩移動	6:00	起床・洗面・清掃・自主点検 自家用車で移動・シーツ返却
14:00	茶摘み 手もみ製茶（少雨決行） 試飲	7:15	朝のつどい
16:30	おもしろ自転車	7:30	朝食
17:30	夕べのつどい	8:40	自家用車で自然の家 発 （天候、荒波等の理由でミニクルージング中止の場合、所内で流木クラフト）
17:45	夕食（食堂） シーツ受取、第1ロッジへ移動 入浴（各部屋の浴室） 自由時間 就寝準備	9:10	集合
21:00	就寝	9:15	乗船
		9:30	くろしお号出航
		10:30	着岸（とろむ） 下船
		10:40	おわりのつどい アンケート記入 解散

5月6日（土）



開会式、オリエンテーションの後、徒歩で野外炊事場に移動し茶摘みと手もみ製茶について説明した。特に「一芯二葉」を意識づけ、柔らかい新芽を摘むように呼びかけた。朝降っていた雨も上がり、茶の葉も乾いて茶摘みには適した条件のもと、緑鮮やかな茶園で和やかに茶摘みをする家族の様子が見られた。

20分間摘んだ後、野外炊事場に戻って葉を煎り手もみして製茶をした。ほとんどの家族が初体験だったらしく「摘んですぐお茶にするとは思わなかった。」「いい香りがしてきたね。」などと会話しながら、楽しそうに作業を進めていた。特に手もみをするときには子供達が大活

躍だった。

「煎る、もむ」の作業を2回した後、新茶を試飲し、残った茶の葉は持って帰って宿泊する部屋や自宅で干してもらうように伝えた。そして後片付けを家族で分担して行った後、ミニサイクリング場へ移動した。楽しみにしていた子供達も多く、親子で仲良く自転車に乗る姿が見られた。

夕食後は宿泊する部屋に入り、家族でゆっくりと過ごしてもらった。

5月7日（日）



朝のつどい、朝食の後、海の駅「とろむ」に自家用車でそれぞれ移動した。ミニクルージングを担当する職員からの注意事項を聞いた後、ライフジャケットを身に着け、くろしお号に乗船した。

港を出て室戸岬方面に向かった。室戸岬沖にさしかかると波が高くなったが、一部の利用者はトビウオが跳ねる姿も見ることができ、歓声をあげていた。

連休の終わり2日間の日程ということもあり、活動を詰め込まず終了時刻も早くしたことは良かった。事業全体を通じて、家族と一緒に過ごす子供達の楽しそうな笑顔が見られた。

#### 事業の成果

・ 普段は熱い日本茶を飲まないという子供が、香りを楽しみ「おいしい」と言いながら自分の水筒にも入れてもらっていた姿が印象的だった。特にお母さん達からは「楽しかった。もっとやりたい。」「こんな体験ができてよかった。」などの声が聞かれた。今までは5月の連休中に宿泊した家族対象に行ってきた茶摘みだが、このように事業として行うことで、この季節しか味わえない自然体験をたくさんの方々にしていただくことができた。

#### 事業の課題

・ 濡れた葉やあらかじめ摘んでおいた葉は製茶に適さないので、当日の昼まで茶摘みができるかどうか心配だった。事業として続けていくには、雨天や雨上がりで茶の葉が濡れている場合にも、この季節ならではの体験をしていただけるよう、準備しておく必要がある。今回は前日に摘んでおいた葉も用意していたが、多少の雨が降っても茶摘みを行い濡れた葉の水気をふき取って煎った方がいいのか、事前にいろいろと試して、かかる時間や香りの違いについても把握しておきたい。事業を担当する者がもっと経験を積んでおくことも必要だと感じた。

#### 参加者の感想

- 茶摘みという企画や1泊することが良かった。
- とても楽しく、充実した時間を過ごすことができた。
- 時間配分も内容もちょうど良かった。
- 茶摘みはいつでも体験できることではないので良かった。
- 家族で過ごせて楽しかった。
- 予想以上に美味しいお茶ができたのでうれしかった。